



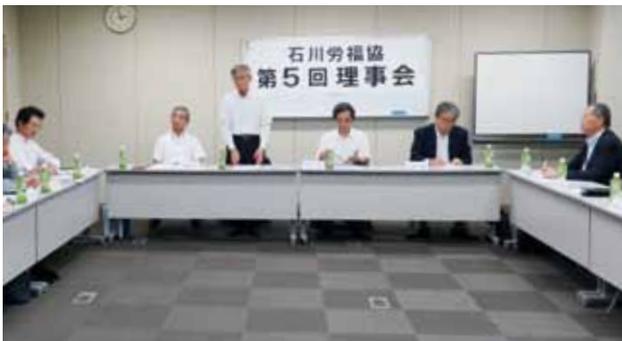
# いしかわ労福協

第 572 号 2015年9月25日

発行所 石川県労働者福祉協議会  
 発行責任者 狩山 久弥  
 編集人 上野 貞彦  
 〒920-0024 金沢市西念3丁目3番5号  
 電話 (076) 231-1737  
 FAX (076) 231-1731  
<http://www.ishikawa-rofukukyo.jp>  
[info@ishikawa-rofukukyo.jp](mailto:info@ishikawa-rofukukyo.jp)  
 毎月1回 25日発行

## — 第5回理事会 —

# 「格差・貧困社会の是正、セーフティネット強化」 に向けての活動展開へ



石川労福協は、9月2日(水)フレンドパーク石川において第5回理事会を開催した。

狩山久弥理事長が、「2016年度の労働者及び生活者の福祉向上にむけた自治体への政策制度要請などを議論いただくとともに、関係団体の協力をお願いします。」と挨拶し、冒頭、役員選出団体の役員改選による中村栄一副理事長及び鈴木正美理事の辞任を了承し、後任に光林邦彦副理事長、後本康裕理事の就任を確認した。

報告事項では、ライフ・サポートセンター事業の更なる推進にむけて連合石川、北陸労金石川県本部、全労済石川県本部、石川労福協で構成する4団体懇談会を設置したこと、さる8月17日(月)から22日(土)に派遣した第14次日中友好訪問代表団の友好交流活動を中心に報告・了承された。

協議事項では、2016年度自治体要請にかかる要請日程、要請内容について審議された。要請内容としては、①本年4月から施行された生活困窮者支援制度における住民の生活実態に照らした取り組みの検討実施、②子どもの貧困対策、③奨学金制度の改善を中心とした「格差・貧困社会の是正、セーフティネットの強化」を軸とし、要請実現に向けた議論を深めた。さら

に、「2015生活底上げ・福祉強化キャンペーン」の取組み、子育て支援事業関係行事や第13回福祉グラウンド・ゴルフ中央大会の開催などについても協議し取り組みの確認をした。

## — 第2回事業団体連絡会議 —



石川労福協は、8月28日(金)フレンドパーク石川において、本年度2回目の事業団体連絡会議を開催した。

会議は、構成メンバー9名のうち6名が参加して行われ、前回会議で確認した方針に基づいて各団体が出した要請内容のほか、労福協要請を取り込んだ「要請書(案)」をもとに来年度の自治体要請にかかる内容を協議し取りまとめた。なお、労福協要請については、9月2日開催の労福協第5回理事会での確認を経て要請の成文化を進めていくと事務局より補足し了解された。

また、未定となっていた要請日程については、10月9日(金)の議員団懇談会を皮切りに実施することなど、実行に向けた諸準備を進めるとともに、要請の実現に向けて関係者一致協力して取り組むことを確認して会議を終了した。

热烈欢迎日本石川县  
劳福协代表团

(蘇州市総工会入口の電子掲示板)

## — 第14次日中友好訪問代表団 —

# 蘇州市総工会との 友好をさらに深める

● 8月18日(火)

### 蘇州市総工会と意見交換



(左から唐暉、趙麗媛、温祥華、張鈺中、張曉波の各氏)

蘇州市総工会にて、総工会の幹部との意見交換を行った。

温祥華主席が、「石川労福協との友好交流は、1986年から29年間継続して進められ、今回の代表団の訪問でさらに深化している。労働者間での交流は、両国の友好を深める上で大切なことであり、今後とも相互に連携して行きたい。蘇州市総工会は1950年に設立され、現在、管轄する蘇州市区、周辺区市を含め300万人の組合員を有している。総工会は、労働者の賃金アップ、福祉向上はもとより、労働争議に関する無料法律相談の取り組みを行っている。また、福利厚生として文化・体育にかかる事業の提供、就労支援策として技能訓練や大学留学支援等による労働者のスキルアップも図っている。さらに、対外交流事業として国内外の友好団体との交流を行っている。」と総工会の状況について説明した。

これに対し、代表団から、労福協会員団体の組織や取り組み事業とその課題などについて説明し、意見交換とした。

天満信夫理事(連合石川会長代行)を団長とする「第14次日中友好訪問代表団」は、蘇州市総工会からの招聘を受け、8月17日(月)～22日(土)に蘇州市総工会などを訪問した。

1986年から始まった交流は29年目を迎え、石川労福協からの訪問は、今回で14回目の代表団派遣となる。

第14次代表団は、天満信夫理事を団長に、上野貞彦事務局長を秘書長、鈴木隆史北陸労働金庫県本部副本部長、中村栄一全労済石川顧問、杉原一秀労信協事務局次長を団員とする5名で構成し、蘇州市、南京市、西安市を訪問した。

● 8月17日(月)



(温主席より記念品を受けとる天満団長) 蘇州市へは、小松空港から中国に向け出国し、上海浦東空港では、蘇州市総工会の高慧芹副主席と張曉波副秘書長、通訳の趙麗媛氏の出迎えを受けた。趙氏は、2011年金沢市役所に蘇州市政府より派遣されており、今回の訪問日程の調整などの連絡役としてお世話をいただいた蘇州市政府の方。

空港から迎いのマイクロバスにて、夕方のラッシュの中、高速道路等を通り蘇州市入りとなった。飛行機の遅れや渋滞により予定を大幅に遅れ、温祥華主席をはじめとする来沢経験者5名を含む蘇州市総工会の方々が出迎える歓迎会々場に直接入り皆さんからの歓待を受けた。

秘書長、通訳の趙麗媛氏の出迎えを受けた。趙氏は、2011年金沢市役所に蘇州市政府より派遣されており、今回の訪問日程の調整などの連絡役としてお世話をいただいた蘇州市政府の方。



(蘇州市総工会玄関前にて  
左手前から杉原、朱正栄、天満、温祥華、中村、上野  
左奥から張曉波、唐、張鈺中、鈴木)

## 三洋能源(蘇州)有限公司(三洋エネルギー)を見学



(三洋能源会議室にて会社の説明を受ける。左側が訪問団)

蘇州市呉江区の工業団地に日本企業として進出する三洋能源(蘇州)有限公司を見学した。この会社は、パソコンやカメラなどの電池を製造しており、ここで生産した製品は、中国国内だけ



(三洋能源の工会による説明)

けでなく様々な企業の製品用電池として広く利用されている。従業員約13,000名のうち、約7,000名が女性とのこと。会社の説明は、日本から単身で赴任の武田二郎社長と日本での職業訓練経験のある陳以本副社長が行った。工場内を見学した後、労働者の福祉関係については、工会の呉海泉主席と女性役員が電光掲示板を使用して行った。



(手こぎの舟で運河から街を散策)



(退思園近くの土産屋街)



(退思園内にて)

約7,000名が女性

の武田二郎社長と日本での職業訓練経験のある陳以本副社長が行った。工場内を見学した後、労働者の福祉関係については、工会の呉海泉主席と女性役員が電光掲示板を使用して行った。

昼食後、古い街並みと運河が残された呉江同里鎮を訪ね世界文化遺産の退思園を見学した。

夕食は、清時代に造られたという庭園である「半園」内のレストランに招かれ、温主席等とともに

に蘇州料理に舌鼓をうった。食後、金鷄湖ほとりにあるシンガポールとの共同開発を行った工業園区に出向き、世界卓球大会が行われた蘇州市文化芸術館周辺の近代的な夜景の賑わいのなかを散策した。



(蘇州市文化芸術館)

## ● 8月19日(水)

### 南京台城、中山陵を視察 江蘇省総工会と交流



(台城にて、右手の高副主席の背後が玄武湖)

南京市に向けて高速道路をマイクロバスで突っ走り、約3時間で南京市に入った。南京市では、市内の景勝地玄武湖を望む台城に登り、城壁の習わしや造りの説明を受けた。



(中山陵前にて)

孫文の墓陵である中山陵を訪ね、孫文が唱えた三権主義「民族、民権、民生」の謂れなどを説明された。また、文化大革命以後、孫文は低く扱われてきたが、偉大さが再評価され、今では多くの人がこの中山陵を訪れるとのことであり、当日も多くの中国国民が頂上にある靈廟まで登り孫文への思いを馳せていた。



(多くの国内観光客であるれる中山陵)

その後、蘇州市总工会の上部団体である江蘇省总工会の国際連絡副部長である羅慶霞氏と李國明氏の出迎えを受けて、交流を行った。

江蘇省总工会の対応は、高副主席の計らいもあり、友好的で大いに友誼を交えた。



(天満団長から記念品を羅副部長に贈呈)

## ● 8月20日(木)

### 西安市总工会を訪問

高副主席には南京空港まで見送りをいただいた。

天満団長は「月曜日から大変お世話になった。温主席をはじめ蘇州市工会の皆さんに感謝の気持ちを伝えていただきたい。また、来年は友好交流30年の節目の年であり、是非、高副主席には来沢いただきたい。そして今年、開通した北陸新幹線にもお乗りいただきたい。心よりお待ちしております。」と金沢での再会を申し出て、高副主席と別れた。



(城壁の遊覧に乗った電動自動車と杉原氏)

西安市は、吸い込まれるような青い晴天の空で肌に刺すような強い日差しであったが乾燥した大陸性気候で、日陰ではさほど暑さを感じさせない陽気であった。

西安の城壁に東門から入り、城壁の上を観光用電動自動車に乗り鐘楼などが残る旧市街地を右手に高層ビルが建ち並ぶ新市街地を左手に見ながら1週約14kmの遊覧を楽しんだ。

その後の碑林公園では、書の大家が遺した石碑を鑑賞することができた。西安市总工会との交流会場は、旧市街地の鐘楼を目の前に見る一



(天満団長から記念品を贈呈)

等地にあるレストランで行った。この店でしか提供しない楊貴妃のために作ったという水晶餃子などで歓迎され、交流を深めた。

## ● 8月21日(金)

### 西安市近郊を見学



(大慈恩寺前の三蔵法師像の前にて) 中国国内での視察最終日となり、三蔵法師が祀ってある大雁塔(大慈恩寺)を視察。大雁塔の頂上から見る西側は、真っ直ぐに伸び、シルクロードを彷彿させる景色が望めた。また、三蔵法師が持ち帰ったというサンسكريット語で書かれた經典の一部を見て、翻訳に対するねばり強い根気と強い精神を感じさせられた。その後、楊貴妃の宮殿(別荘)である「華清池」そして、中国最初の皇帝「秦始皇帝」の墓陵である世界遺産の秦始皇帝陵の兵馬俑博物館を訪ね、さらに中国の歴史の深さを感じつつ視察日程を終了し、西安空港から雨が降る上海のホテルに深夜12時に到着。寝るだけだったが中国滞在最後の夜を静かに過ごした。



(整然と並ぶ兵馬俑)

## ● 8月22日(土)

### 帰国(金沢)の途へ

昨夜、張曉波氏に代わった張さん(女性)と3日から同行の通訳をいただいた顧長江氏の見送りを受けて上海から関西国際空港に向けて帰国した。

今回の訪中で、20年前には想像できなかったほどに発展を遂げ、今なお発展を続ける中国・蘇州に触れ、驚きと感激の連続であった。そして、温祥華主席をはじめ多くの方に熱烈な歓迎を受け、蘇州市总工会の皆さんに心から感謝するばかりです。さらに、かつて日本に訪問されて、数日間共にした友人たちが快く、かつ、温かく迎えてくれて「嬉しい思い」一杯で帰国した。この深い友人関係を大切にして、友好交流の深耕と両国の友好を願うばかりです。

労福協事務局長 上野 貞彦

## 全国労働者福社会館協議会第45回定期総会



全国会館協議会(全国労働者福社会館協議会)は、9月10日(木)～11日(金)、滋賀県守山市「Riseville 都賀山」において第45回定期総会を開催した。

総会には、全国の会員から30名が参加し、開催地会館の田中茂和副支配人が議長となり、始められた。

会長の中塚宗浩(Riseville 都賀山理事長)氏は、「会館設立当時の理念を踏まえ関係団体への利用促進を働きかけていきたい。また、会員間の情報交換や中央への働き掛けを通じて会館存続のため共に努力しよう。」と挨拶をし、続いて、来賓の地元滋賀県労福協会会長山田清氏、守山野洲地区労福協会会長羽田仁氏を紹介し代表して山田氏より歓迎の挨拶があり議事が進行した。

議案では、全国4ブロックが連携して活動を行ってきたことや労福協等の労働諸団体における労働者福社会館の利用状況アンケート調査の実施、各会員の利用促進の一助となるような取組みと働きかけを行ったことなどの協議会運営状況と

会計決算を報告し、また、ブロックを基軸とした活動の重視と公益法人法に基づく適正な運営に向けた情報提供などの活動方針が提案され、全て満場一致で確認した。

また、組織事情による役員の一部交代にかかり役員の補欠選挙が行われ、松村清氏から石井清貴氏に幹事(事務局長)が交代した。最後に高橋利通幹事が閉会を宣言し定期総会とした。

引き続き研修会では、守山市教育委員会文化財保護課の伴野幸一主査が「発掘された『弥生の王国』」と題して講演を行い、古代の日本の国づくりについて知識を得、翌日には遺跡を見学し更に見識を深めた。

なお、総会当日の午前中に中部ブロック会館協議会の本年度第1回目の幹事会を開催し、本年度の具体的な取組みと年会費などについて決定した。

事務局長 上野 貞彦



(研修会)



(元伊勢の復元模型)

### これからの行事予定

(9月25日現在)

開催日	曜日	行 事	会 場
9月25日	金	労働福祉センター会員事務担当者研修会	白山労働会館
26日	土	勤文協 第44回絵画陶芸展 能美展(～28日)	根上総合文化会館
27日	日	食みどり水 NW 支援米稻刈り	金沢市牧山町
29日	火	石川県市長会、町長会事務局への説明	金沢市
10月 3日	土	食みどり水 ふれあい果樹体験 栗拾い	能登町上町
5日	月	食みどり水 NW 幹事会	連合石川
6日	火	年金事務及び労働保険事務講習会	地場産業センター
8日	木	労福協・LSC 第13回福祉グラウンド・ゴルフ中央大会	金沢市民芸術村 大和町広場
9日	金	自治体要請 県議・金沢近郊市町議懇談会	ANA ホリディイン金沢
10日	土	石川県生協連創立50周年式典・記念講演・祝賀会	ホテル金沢
11日	日	ライフ・サポートセンター 親子芋掘り交流会	金沢市栗崎地内
13日	火	自治体要請 加賀地区自治体担当者会議・議員団懇談会	小松グランドホテル
14日	水	自治体要請 能登地区自治体担当者会議・議員団懇談会	サンビーム日和ヶ丘
15日	木	全国会館協 第1回幹事会(～16日)	横浜市
16日	金	食みどり水 NW 協力団体連絡会議	フレンドパーク石川
18日	日	クヌギ下草刈りボランティア(～19日)	珠洲市
19日	月	中部労福協 研究集会(～20日)	福井市
〃	〃	金沢ファミリーサポートセンター提供会員講習会	富樫教育プラザ
20日	火	さわやかU 第2回運営委員会	労済会館
22日	木	自治体要請 加賀地区自治体首長要請	野々市市以南の市町
24日	土	クヌギ植林ボランティア	珠洲市
26日	月	自治体要請 能登地区自治体首長要請(～27日)	内灘町以北の市町
27日	火	中央労福協 LSC 実務者・相談員研修会(～28日)	東京都
28日	水	連合石川定期大会	労済会館

# 勤文協 第44回 石川県勤労者絵画・陶芸展

勤文協(石川県勤労者文化協会)は、金沢市広坂2丁目のしいのき迎賓館ギャラリー Aにおいて、第44回石川県勤労者絵画・陶芸展を9月3日(木)～6日(日)の日程で開催した。

会場には、日本画19点、洋画68点、陶芸15点の計102点が展示され、多くの鑑賞者で会場は大いに賑わった。

最終日の6日(日)には、表彰式・合評が行われた。合評では、受賞者・出品者が審査員の話真剣に聞き入り、次回の展覧会に向けての創作意欲に満ちていた。

日本画



労福協理事長賞  
「紫陽花」  
石田一美(金沢市)



北國新聞社長賞  
「古代の花」  
村上光子(金沢市)



招待・奨励賞  
「薔薇」  
剛光早苗(津幡町)

洋画



労福協理事長賞  
「メモリー」  
堀戸勝子(小松市)



北國新聞社長賞  
「それぞれに存在」  
小村佳美(内灘町)



金賞  
「誘う」  
鶴貝桃子(小松市)



銀賞  
「さくら」  
野水眞琴(金沢市)



銅賞  
「大衆鮮魚」  
西井久雄(金沢市)



招待・奨励賞  
「出番まち」  
石倉博美(内灘町)

陶芸



労福協理事長賞  
「裂文壺『火山島』」  
吉本愼二(金沢市)



北國新聞社長賞  
「真鯛」  
藤江明光(金沢市)



招待・奨励賞  
「幽玄」  
中山和良(金沢市)

## 加賀 LSC

### 第 2 回幹事会と研修会



加賀地域  
ライフ・サ  
ポートセ  
ンターは、  
8月27日  
(木)、北陸  
労金大聖寺

支店会議室において、第2回幹事会を開催し、この間の活動報告と今後の取り組みなどについて協議した。

幹事会終了後、引き続いて、研修会を開催した。

研修会は、北陸労働金庫営業推進部の水口賢治さんを講師に招き、「投資信託定期定額買付のメリットとNISA」について、「投資信託定期定額買付サービスが5,000円からはじめることになり、複数のファンドを購入しやすく、また、分散投資によるリスク軽減が期待できるようになったこと。NISAなら譲渡所得・配当所得が非課税であることや、改正により来年1月から“ジュニアNISA(子どもの将来に向けた資産運用)”がはじまること。しかし、投資信託はリスクを含むことを忘れないこと。」と、お得な情報を判り易く講演された。講習後、色々な質問が飛び交い関心の深い、有意義な研修会となった。

今後も、このような活動を開催していきたい。

### 第13回加賀地域LSC交流グラウンドゴルフ大会



加賀地域ライフ・サポートセンターは、9月5日(土)、今年で13回目となる加賀地域ライフ・サポートセンター交流グラウンドゴルフ大会をいきいきランド加賀で開催し、34名が参加した。

秋晴れの清々しい風が吹く絶好のコンディションで開催され、山本哲朗加賀地域LSC会長、小酒労金大聖寺支店友の会会長の挨拶に続き、山本会長と松本晃労金大聖寺支店長による始球式が行われた。

競技は、真剣勝負に挑む中でも笑いもあり、いつもどおり、和気藹々としながら終了した。

表彰式では、小酒労金友の会会長から上位入賞者に、賞品や楯を渡され、大会を終えた。なお、上位入賞者は10月8日(木)に開催される中央大会に派遣される。

上位入賞者

男性の部：優勝 小村邦夫、2位 表征志、3位 北野悟

女性の部：優勝 松山克子、2位 小村留美子、3位 新木三那子

一般の部：優勝 宮下利雄、2位 脇田光枝、3位 宮本博

加賀地域LSC 事務局長 永井 達也

## 白山・野々市 LSC

### 親子絵付け教室

白山・野々市地域LSCは、8月1日(土)白山市労働会館において「親子絵付け教室」を開催した。この教室は、毎年人気の行事で、午前10名、午後10名の計20名の親子が参加した。

参加者は、昨年とは違う「器の素材」、「絵の具」を使い、思い思いの作品作りに真剣な表情で取り組んでいた。

絵付け終了後には、お世話いただいたニココー労組の皆さんの協力で、ゴムフーセン釣りやクイズなどで楽しんだ後、10日前後での仕



上がりを楽しみに親子絵付け教室は無事に終了した。

この絵付け教室の開催のほか、7月11日(土)に第13回退職前セミナーを参加者23名で開催し、退職後の生活設計に役立ててもらった。

白山・野々市地域LSC 山下 芳子

# 勤 体 協

## 第 48 回県勤労者夏季体育大会

### 《ソフトボール金沢大会第 2 日》

9月 13 日(順延開催)・金沢市テクノパーク運動広場

◇ 2 組

- ①石川トナミ②ドーベルマン③99S、Softers

### 《バスケットボール大会最終日》

8月 30 日・白山市湊リフレッシュセンター

- ①カメレオン☆②OPI③TAKAMAZ

## 第 49 回県勤労者秋季体育大会

### 《バドミントン小松大会》

8月 30 日・小松市末広体育館

◇一般男子ダブルス

- ①宮村順也(津幡クラブ)・浅井裕貴(北國銀行)
- ②齊藤壮輝(能美寺井クラブ)・秋山直之(同)
- ③吉岡大知(WBC)・浅野昭起(同)、原田英治(津幡クラブ)・米谷勝重(同)

◇一般男子シングルス

- ①橋田恭輔(浅野川シャトルズ)②石野淳一(Let's)
- ③米谷稔勝(津幡クラブ)、池島健広(フォーティフォー)

◇一般女子ダブルス

- ①原田直子(津幡クラブ)・宮村美沙都(同)
- ②越野佳代(勤体協サークル)・清水美香(同)
- ③酒井理帆(勤体協サークル)・西田智恵美(同)、吹谷絵里(浅野川シャトルズ)・福岡美美枝(同)

◇40歳以上男子ダブルス

- ①山本均(WBC)・出越悟(同)
- ②坂東陽月(ばんどう歯科)・村井礼(同)
- ③坂井雅春(大吟醸クラブ)・見神雅之(七尾クラブ)、今井陸幸(小松協会)・堀和晃(同)

◇40歳以上女子ダブルス

- ①武内節子(くろゆりクラブ)・樋間宣子(同)
- ②高嶋浩美(くろゆりクラブ)・柴田貴子(同)

### 《ソフトテニス大会》

9月 6 日・小松市運動公園末広コート

◇団体

▷一般男子

- ①荒谷商店②もりもり寿司
- ③能美クラブ、かほくクラブ A

▷一般女子

- ①金沢 STLC ②かほくクラブ③野々市

◇個人

▷一般男子 降雨中止

▷一般女子 “ ”

▷シニア

- ①升田・山本(かほく B)②藤原・蔵(コマツ)
- ③高田・長田(かほく B)

### 《第 49 回県勤労者相撲大会》

9月 6 日・津幡町常設相撲場

◇団体

- ①金沢市 A ②加賀市③河北郡 A、河北郡 B

◇個人一般

- ①中村文哉(金沢市 A)②川口大輔(金沢市 A)
- ③北村大樹(加賀市)、中野孝太(金沢市 B)

◇個人青年

- ①長井恒輝(河北郡 A)②兼氏海渡(河北郡 B)
- ③魚住洋輔(金沢市 B)、濱端大地(加賀市)

◇個人壮年

- ①園山智之(金沢市 A)②若松弘樹(志賀町)
- ③奥田純一(志賀町)

### 《第 17 回サイアーランニング大会》

9月 13 日・犀川河川敷

県内の 10 ~ 80 代までの約 180 人が犀川の若宮大橋下 ~ 犀川神社 ~ ニツ寺橋付近までの折り返しコースを 5 キロ、10 キロ、20 キロ、30 キロの 4 部門で自己記録の更新を目指して、雨の中を走った。

### 《第 18 回マレットゴルフ大会》

9月 20 日・白山市の県営手取公園

▷男子①田中邦雄②城田正雄③村中文哉

▷女子①山田祥子②木谷育江③石倉チエ子

### 《第 18 回パークゴルフ大会》

9月 21 日・白山市松任海浜公園

◇団体

▷男子

- ①ドリーム 4(木村、北、中川、山崎)
- ②老若男③さわやかチーム

▷女子

- ①白山松任ビューティフォー(北、平本、高桑、山口)
- ②奇跡クマゲラ③マダム朝顔

◇個人

▷男子

- ①瀬尾孝②藤本保③能任秀明

▷女子

- ①長木百合子②高桑文子③吉村悦子

### 《剣道羽咋大会》

9月 23 日・羽咋市武道館

◇団体

- ①北陸綜警 A(小西健太、中越顕士郎、佐藤博之)
- ②北陸綜警 B ③日曜会 A、一文字会

◇個人

▷男子

- ①佐藤博之(北陸綜警)②平哲雄(同)
- ③中西優登(宝)、大坪尚樹(北陸綜警)

▷女子

- ①藤田涼香(一文字会)②宮下典子(宝)
- ③山路佳奈(一文字会)、源紗季(北陸綜警)



**2015 生活底上げ 福祉強化キャンペーン**

■ 若者を追い込む雇用劣化と奨学金問題の改善を！  
～ 給付型奨学金制度の導入等を求める署名活動実施中

■ 生活・就労支援を強化し、  
生活困窮者自立支援制度を地域で支えよう！

■ みんなで労働者福祉事業を利用し、  
共助の輪を地域に広げよう！

(一社)石川県労働者福祉協議会

